



〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867

医療型障害児者入所施設

療養介護事業

幡多希望の家

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <http://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki01@mb.gallery.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家 <発行責任者> 河原 敏郎

<発行日> 2022 年 1 月 1 日

土佐希望の家との法人合併のご報告

社会福祉法人幡多福祉会理事長：小椋 茂昭



明けましておめでとうございます。本年が良き年でありますよう祈ります。

さて社会福祉法人(以下、法人)「幡多福祉会」は、幡多地域における障害児者のための福祉施設建設を目指すご家族や福祉関係者の熱い想いから出発し、法人「土佐希望の家」のご支援により、平成8年に設立されました。平成9年には、重症心身障害児者施設「幡多希望の家」を開園し、幡多圏域を中心に重症心身障害児者のための障害福祉サービスの向上に努めて参りました。

しかし、医師などの医療専門職の確保維持は年々難しくなり、法人運営の大きな課題となっておりました。特に平成31年度には、かつてない非常事態に陥りましたが、法人「土佐希望の家」をはじめとする関係医療機関のご支援ご協力により何とか乗り切ることができました。

これまで医師不足の折、幾度となく医師の派遣応援でお世話になっていた法人「土佐希望の家」には、設立当初より同じ福祉施設として、施設運営の相談等にも乗ってもらっておりました。また種々の意見交換を行う中で、近年の地域の人口減をも見据え、互いの協力関係をより強化する「法人合併」の重要性を認識するに至りました。そして利用者のご家族や職員への説明を行って理解を得る中、平成31年度に設置した合併協議会にて議論を重ねて参りました。令和3年度になり、医師確保や運営改善への取り組みの面からも、一日も早い法人合併が必要との合意に至り、令和3年6月開催の理事会・評議員会で「合併案」が審議され、令和4年4月1日付けをもって「土佐希望の家」と法人合併することが決議されました。

これにより、令和3年8月19日(木)に、両法人理事長による合併調印式が執り行われました。そして合併申請への諸手続きが進められ、令和3年10月29日付けで高知県より両法人の合併が認可されました。

本年4月の合併によって、法人名は「社会福祉法人 土佐希望の家」として統一され、施設名は「幡多希望の家医療福祉センター」となります。法人名、施設名は変わりますが、施設運営の基本方針は大きく変わるものではありません。また利用者の皆さんの生活に大きな変化を来すものでもありません。

今回の法人合併で、より安定した運営基盤ができ、当施設に関わる全ての皆様が安心して利用できる重症心身障害児者施設となるものと考えております。そして利用者のご家族や職員の理解と協力を得て、希望をもって新たな歩みを踏み出したいと思っております。

皆様のご要望ご期待に沿うよう一層の努力を致す所存でございますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。



両理事長による調印式

総務部紹介



(総務部 坂本)

新年あけましておめでとうございます。

新春号では総務部紹介ということで、今年も一年頑張るぞ！という気持ちで紹介させていただきます。

総務部は、令和元年4月に河原常務理事を総務部長兼任という形で迎え、新体制となりました。それから、あっという間に2年が来ようとしています。振り返るとこの2年間は新型コロナウイルスとともに歩んできたように思います。

現在も続くマスク生活で、新入職員の顔もよくわからないままなのが残念です。「目は口ほどに物を言う」という諺がありますが、目からその人の気持ちを読み取るのは、なかなか難しいものです。

一日も早く、新型コロナが収束して、以前のように笑顔があふれる日常が戻ってくることを願っています。



宿毛市クリーンデー参加



毎年、年に2回ほど、幡多希望の家がある宿毛市中山地区の清掃活動に総務部が中心となって参加しています。

昨年(2021)の11月19日(金)に参加した写真をパチリ。ごみ拾いを中心に作業をしました。小さなことですが、こうした活動を通じて地域交流が図れたらと思っています。

柿がたくさん採れました



長岡先生が植えてくださった医師住宅の柿の木に、昨秋もたくさんの柿の実がなりました。

カメムシ被害に会う前にと、早めに収穫したため少し固めでしたが、美味しかったです。

桃栗3年、柿8年、時が経つのは本当に早いものです。

クリスマス会

当施設のパティシエが作ったクリスマスケーキです。

利用者の方々も大喜び！！



手作り名人 庶務課

今回は庶務課の職員が作成した物を紹介します。



感染対策グッズ



手袋収納ケース



移動式パーテーション



アルコール消毒台

取り組み&季節の飾り



紙芝居の枠



門 松



リハビリ走行器具

環境整備



日よけ作成風景



日よけ完成品



花 壇

今回載せた物はほんの一部です。いつもこんな物が欲しいなあという無理難題を叶えてくれる素敵な職員さんに感謝しながら、気持ちよく仕事をさせて頂いています。

ちょっと一言

『新しい生活様式』という言葉にもちょっと新鮮味がなくなってきた今日この頃。感染者数の増減に一喜一憂しながら首をすくめて暮らす日々も早い物でもう足掛け3年目になりますね。

殊に在宅支援の現場では利用に際してご本人・ご家族にご負担をかける点も多く、職員共々窮屈さを感じながらの毎日となっています。

こんな時だからこそ楽しみを持ちたいねと、10月末にはハロウィンの仮装をしました。

管理棟までお菓子を貰いに行くこともなく、ささやかな仮装大会でしたが、今出来ることを精いっぱい楽しんで、少しずついろんな楽しみを取り戻しながら僕たちの『新しい生活様式』を作り上げていきたいと思っています。

(さくらんぼ 西井)



今年は各部屋でクリスマス会を実施しました。

音楽を聴きながら、飾りと共に写真撮影！！

ケーキが登場すると自然と笑みがこぼれ、

みんな幸せそうに頂きました。

来年はみんなで出来るかな？



作品展



今年度予定していた作品展。やっと11月中旬から2か月間、面会室で開催することが出来ました。

面会時、ご鑑賞された方、またコメントを書いて下さった方、本当にありがとうございました。

この作品は、70歳になる利用者さんが記念になる事がしたいという言葉からできたイベントです。

いつまでも大好きな絵を描き続ける気持ちを大切にして、元気に過ごしてもらいたいです。



編集後記：あけましておめでとうございます。今年度は各部署で記事を担当して頂きました。

部署によってはなかなか大変だったと思いますが、それぞれの色が出て楽しんで頂けたのではないのでしょうか。来年度はどんな記事になるか楽しみにして置いて下さいね。今年もよろしくお願い致します。

病棟 波潟よ